

時事の話題

■今夏の節電対策について

政府が指し示した今夏の電力需給対策に基づき、一昨年比マイナス15%以上の節電について、本所も関西電力や京都府から説明・要請を受けている。近いうちに、京都経済4団体のトップで今夏の節電対策への対応を協議したい。本所は昨年同様に節電要請を受け入れ、事業活動に過度な負荷が生じない範囲で、京都経済界全体で協力を惜しまないよう提案するつもりであるが、計画停電については受け入れられない。大飯原発の再稼働の判断を前に、計画停電の準備が進められることに大きな危惧を抱いている。万が一、計画停電が実施されると、正常な経済活動、特に中小企業への悪影響は避けられず、暮らしや医療など広範囲に深刻な事態が及ぶことが懸念される。計画停電を回避するための対策を万全に整備されるよう、ぎりぎりまで強く要望したい。

いずれにせよ、政府は総合的な観点から骨太な中長期のエネルギー政策を策定し、代替エネルギーや省エネ・創エネ技術などの新産業の育成を国として支援し、官民の総力を挙げて、原発依存度の低下を目指す方向へ進むべきであることは間違いないが、実現には時間が必要である。原子力規制庁を一刻も早く設置し、中立的な機関による専門的・科学的な根拠を基に、政府は強い決意と責任をもって原発再稼働の必要性について、国民の理解を得るべきである。計画停電をなんとしても避けるため、今夏の安定的な電力供給の手段として、大飯原発3・4号機の暫定的な再稼働を野田首相に早急に決断いただくほかはない。また、京都府を含め、電力消費地である各自治体の首長は、このように地域の産業基盤・雇用を支える我々が、現実的に差し迫っている電力供給不安に対して声を上げていることを真摯に受け止めていただき、府市民の生活、正常な経済・社会活動を守る立場として、批判を恐れず、現実的な決断・対応をお願いしたい。

■会頭ミッション（スペイン・ドイツ）報告について

5月19日から28日にかけて、再生可能エネルギーの先進事例としてスペイン・ドイツの環境先進地を視察してきた。我が国の全原発が停止している中、時宜を得た視察であった。両国では、エネルギー政策を政府が強力に主導し、大きな決断をしている点が再生可能エネルギーの普及促進につながっている。また、それに応じて、新たな雇用や海外で稼げるビジネスを生み出している。一方、わが国では原発依存のエネルギー政策からの転換が求められるなかで、各地域の電力会社が発電所と送電網を一体的に運用し、発電事業への新規参入や経済性の向上、再生可能エネルギーの普及促進に大きな障害となっている。

また、訪問地の人々は自分の権利が制限されることにより、公共性の高い都市ができること、それにより地価や都市の価値が上昇することで地域住民も幸福になれることを長い歴史を重ねることで理解している印象を強く持った。我が国も人にも環境にも優しい、安全な地域社会をつくるためには、住む人々があまりにも行き過ぎた自由な考えや行動でなく、個人は公人として自分の権利を制限し、企業は社会の公器として、よりよい社会づくりに奉仕する、より高い理念をもった経営が求められる時代を迎えている。こうした土壌や国民の意識がなければ、日本の中長期的なエネルギー政策は計画通りに進まないという懸念を抱いている。環境・エネルギー問題の課題解決に向け、創エネ・省エネ・蓄エネ技術のイノベーションにより、地域特性に合った最適な地産地消型の再生可能エネルギーへの転換や持続可能社会の創造を目指し、貢献していくことが、京都企業のさらなる成長につながるものと期待している。

■関西6商工会議所トッププロモーションについて

6月7日～9日にかけて、京都・大阪・神戸・奈良・大津・和歌山の6商工会議所および近畿運輸局と連携して、中国への広域観光トッププロモーションを実施する。関西の主要な商工会議所のトップが揃って観光プロモーションを行うのは、今回が初めてのことである。

訪問先は上海市、広州市の2都市で、現地経済団体幹部などと懇談するとともに、アウトバウンドを取り扱っている現地旅行会社や現地有力企業に対して、富裕層の誘客とインセンティブ旅行（報奨旅行）の誘致活動を行う。急増する東アジアからの観光客の受け入れ、特に富裕層の取り込みや、企業や団体などが実施するインセンティブツアーの招致は、大きな経済波及効果が期待でき、関西各都市のブランド発信につながるなど、観光の質的転換を図る観点からも戦略的に取り組む必要がある。

また、このプロモーション活動と併せて、中長期的にビジネス交流を図る観点から、上海市訪問中に、本所と上海市最大の経済団体である上海市工商業連合会との間で、経済交流協定を締結することとした。本協定締結により、①ミッションの派遣、②商談および販売の促進、③観光の3つの分野で相互に協力し合うことにし、上海市とのビジネス交流を積極的に推進していく。本所では今後も、中国をはじめとするアジアの経済成長・発展を、いかにして内需として取り込んでいけるかを視野に入れ、経済、人的交流を図りたい。

■記者からの質問事項

■節電や計画停電について、各自治体にどのような対応を望みたいか。

我々は経済界として、計画停電を避け、暫定的にでも大飯原発3・4号機の再稼働を要請する姿勢を最後まで貫きたい。各地域の首長は15%以上の節電に対して準備されるだろうが、各地域の経済を支えている産業界の要請を真摯に受け止め、計画停電を避けることに万全を期してほしい。京都経済4団体の要望は政府に提出したものであるが、京都府・市に限らず、大阪府内、滋賀県内を含め、各自治体に対して計画停電の回避、並びに安定的な電力供給へ向けた大飯原発の暫定的な再稼働の必要性を理解いただきたい。

■政府に対する京都経済4団体の緊急要望について、政府からなんらかの反応はあったか。

今のところ直接的な反応はないが、我々が要望しているエネルギー政策や原子力発電に関する緊急要望の趣旨は、これからの政府方針に生かされると期待している。

■政府の大飯原発に対する判断の気配が感じられないが、政府の対応について、どういう印象をもっているか。

野田首相は総理の立場で最終的に決断されるだろうが、関係機関の考えをくみとり、多言のない判断を期待したい。

京都商工会議所創立130周年記念事業
2012年京都商工会議所会頭ミッション「スペイン・ドイツ視察団」派遣報告

■目 的

東日本大震災による原発事故により明らかになったエネルギー構造の脆弱性を是正し、中長期的な視点から京都・関西におけるエネルギーのベストミックスを検証するとともに省エネ・創エネといった京都が強みとする環境・エネルギー分野の更なる成長を目指し、再生可能エネルギーへの取組みの先進国であるスペイン・ドイツを訪問し、エネルギー問題に関する両国の取組状況、環境に配慮したまちづくり、環境産業について視察した。

■主 管

国際交流特別委員会

■日 程

2012年5月19日(土)～5月28日(月) <10日間>

■訪問都市

スペイン(マドリッド、バルセロナ)、ドイツ(ハイデルベルク、フランクフルト)

■団員 26 名

【団 長】 立石 義雄 会 頭
【副 団 長】 柏原 康夫 副会頭
【幹 事 長】 福永 晃三 常議員・国際交流特別委員会 委員長
【副幹事長】 齋藤 茂 常議員・国際交流特別委員会 副委員長
【副幹事長】 田中 誠二 議 員・国際交流特別委員会 副委員長
【団 員】 本所役員・議員など

■概 要(主な視察・懇談先)

再生可能エネルギーコントロールセンター(CECRE)視察

日 時:5月21日(月) 10:00～11:30

場 所:REE 社

出席者:Miguel Duvison (Director de Operación de REE～REE 社オペレーション部長)
Tomas Domínguez (Jefe Responsable del CECOEL～CECOEL 責任者)
Miguel de la Torre (Técnico del CECOEL～CECOEL 技術者)

内 容:スペインの送電管理会社レッド・エレクトリカ社(REE社)の電力系統全体を制御する中央給電指令所を訪問し、その一部である CECRE でスペイン全土の再生可能エネルギーとコージェネレーション発電の状態をオンラインで監視・制御を行っている状況を視察した。



JETRO マドリッド事務所からのレクチャー

日 時:5月21日(月) 18:00～19:00

場 所:WESTIN PALACE

出席者:JETRO マドリッド事務所長 加藤 辰也氏

内 容:加藤所長よりスペインの再生可能エネルギーの状況、特に1998年に導入された固定価格買取制度の急速な普及と問題点、緊急危機後のスペイン経済の財政赤字問題などの現状についてレクチャーを受けた。



コラデテス風力発電所視察

日 時:5月22日(火) 15:30～17:00

場 所:コラデテス風力発電所

出席者:Joan Fages 氏 (Vicepresident, Evervent, S.A.)

内 容:バルセロナ郊外で54基の風力発電を持ち、3万世帯分の発電量を有する発電所と、新型タービンの開発状況、環境保全への取り組みなどを視察した。



在バルセロナ総領事館との懇談

日 時:5月22日(火) 20:30～22:30

場 所:Via Veneto

出席者:在バルセロナ総領事 椿 秀洋氏

内 容:椿総領事よりスペインと日本の関係、バルセロナのあるカタルーニャ地方が歴史的にも独自の気質や特質を有していることなどを講演いただいた。



ハイデルベルク市環境局からのレクチャー・視察

日 時:5月24日(木) 13:30～17:30

場 所:ハイデルベルク市公会堂

出席者:松田 雅央氏 (在ドイツ環境ジャーナリスト)

Mr. Alexander Krohn (Office of Environmental Protection, Trade Supervision and Energy of the City of Heidelberg)

内 容:松田氏より、ハイデルベルク市のまちづくり、環境政策について現地見学を通じて解説いただいた後、Krohn氏より、主にパッシブハウスを中心とした大規模な新市街地 (Bahnstadt) についてレクチャーを受け、開発途上の現地を見学した。



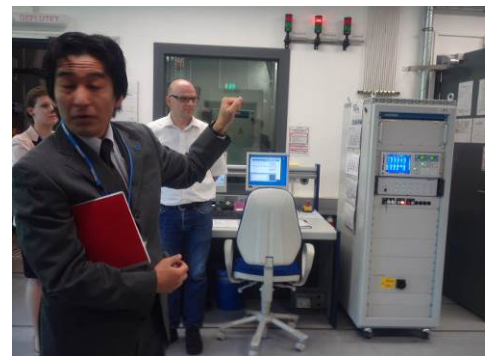
HORIBA Europe GmbH (堀場製作所現地法人) 視察

日 時:5月25日(金) 14:30～

場 所:HORIBA Europe GmbH

出席者:ホリバ・ヨーロッパ社 社長 河邨 浩氏他

内 容:フランクフルト郊外の Oberursel にある堀場製作所の現地法人を訪問し、欧州における活動状況、主力の自動車排ガス検査装置について説明を受けた。



関西 6 商工会議所広域観光トッププロモーションに関する件

急増する東アジアからの観光客、とりわけ富裕層をはじめ、企業や団体などが実施するインセンティブツアーの招致は、大きな経済波及効果が期待されるだけでなく、関西各都市のブランド発信につながるなど、観光の質的転換を図る観点から取り組む必要がある。

このため、魅力的な観光地や多くの観光施設などが集積する関西の 6 商工会議所が連携して、産業観光など経済界の視点ならではのユニークベニューと、関西観光のモデルルートを PR するため、東アジアの経済団体など関係機関へのトップセールスを実施する。

特に今回は、日中国交正常化 40 周年を迎えた中国を対象国とし、同国の主要都市である上海市並びに広東省広州市と関西との関係を一層強化し、多くの方に関西へお越しいただくため、下記の通りプロモーション団を派遣する。

記

1. 主 催 京都・大阪・神戸・大津・奈良・和歌山商工会議所

2. 日 程 平成 24 年 6 月 7 日（木）～ 9 日（土） （3 日間）

3. 訪問都市 中国 / 上海、広州

4. 主な内容

- ・ 関西の 6 商工会議所のトップが、現地の商工会議所に相当する団体である「上海市工商業連合会」並びに「広東省工商業連合会」のトップ及び主要な企業経営者と親しく懇談することで関係強化を図る。
- ・ 上海市並びに広東省の工商業連合会の協力を得て、インセンティブツアーに関心の高い業界団体及び現地有力企業を招いてプレゼンテーションを実施する。
- ・ アウトバウンドを取り扱っている現地旅行会社並びに現地マスコミを対象とするプレゼンテーションを実施し、富裕層の誘客とインセンティブツアーの誘致につなげる。

5. 参 加 者	京都商工会議所	会 頭	立石 義雄 氏
	〃	観光産業特別委員長	南 隆明 氏
	大阪商工会議所	会 頭	佐藤 茂雄 氏
	〃	ツーリズム振興委員会副委員長	桑山 信雄 氏
	神戸商工会議所	会 頭	大橋 忠晴 氏
	〃	観光集客委員長	中内 仁 氏
	大津商工会議所	会 頭	大道 良夫 氏
	奈良商工会議所	会 頭	西口 廣宗 氏
	和歌山商工会議所	副会頭	勝本 僖一 氏

ほか会議所役員・議員、近畿運輸局長、事務局など計 36 名

6. 主な面談予定者

上海市工商業連合会 主席、副主席

1951 年設立。上海市の民間商工業者の団体として発足。会員数は約 4 万社。

広東省工商業連合会 主席、副主席

1953 年設立。広東省の民間商工業者の団体として発足。会員数は約 18 万社。

7. スケジュール（案）

日 程	内 容
6 月 7 日(木)	朝 : 結団式、関空発→上海着 午後: ①観光プレゼンテーション ②上海市工商業連合会幹部との懇談会 ③観光セミナー・レセプション
6 月 8 日(金)	午前: 上海発→広州着 午後: ①観光プレゼンテーション ②広東省工商業連合会幹部との懇談会 ③観光セミナー・レセプション
6 月 9 日(土)	午前: 広州発→香港着 午後: 香港発→関空着

8. 各催し概要

①観光プレゼンテーション

現地旅行会社と現地マスコミを対象に、グルメや観光スポットをはじめとする多様な関西の魅力を、一般的な旅行案内ではなく、経済人ならではの視点から、グレードの高い旅行のためのコンテンツを紹介する。

②＜上海市・広東省＞工商業連合会幹部との懇談会

関西の企業にとって関係の深い上海市並びに広東省の経済界との関係を一層強化するため、トップ同士の親交を深めるとともに、関西への来訪を呼びかけることを目的に、意見交換を行う。

③観光セミナー・レセプション

インセンティブツアーの実施に関心の高い現地の有力企業を対象に、多彩な関西の魅力に加えて、産業観光や特別なしつらえのパーティー会場など、研修を兼ねたツアー企画も検討いただける、魅力的な関西のコンテンツを紹介する。

※ 6 月 7 日に観光セミナーと並行して上海市工商業連合会と経済交流協定を締結予定

関西観光パンフレット 概要

《タイトル》

地元経済界がお勧めする上質の関西観光「ようこそワンダフル関西」

《内 容》

1. 関西オンリーのセールスポイント (P 2～4)
 - 1-1. 至近距離で個性を競う都市 それぞれに日本ナンバーワン
 - 1-2. クールジャパンの最前線 共存する伝統文化と最先端
 - 1-3. 間口が広く奥行きの深い食文化
 - 1-4. 都市からアクセスしやすい美しいドラマチックな自然
2. 見学可能な主要産業施設（先端技術、生活・ものづくり、ファッション、食文化） (P 5～7)
3. とっておきの関西グルメ (P 8)
4. 卓越のパーティースペース (P 9～10)
5. 日本文化の神髄 関西ならではの催し (P 11～12)
6. 美しい自然との出会い (P 13～14)
7. 街がつくりだしたユニークなイベント (P 15)
8. 関西周遊モデルコース (P 16～18)
9. 関西の珠玉の特産品 (P 19～20)
10. 統計からみた関西 (P 21)

《配 布 先》

- ・インセンティブ旅行を取り扱う中国旅行会社
- ・インセンティブ旅行に関心のある中国企業
- ・中国のマスコミ など

《制 作》

京都・大阪・神戸・大津・奈良・和歌山各商工会議所

以上